



# 漁業後継者報償贈呈式

議会だより



## 定例会9月会議

【主な記事】

- 一般質問・議会日誌 ..... 2～3
- 令和3年度決算認定 ..... 4
- 9月会議議案審議、常任委員会レポート ... 5
- 定例会8月会議、定例会10月会議 ..... 5
- 行政報告・編集後記 ..... 6

令和4年12月

NO197



## 一般質問



上田 議員

### 利尻昆布の生産量、 ブランド力の向上に ついて

**上田議員** 利尻島の特産品である利尻昆布はコロナ禍の影響もあり、価格が減少傾向にあります。また、漁業従事者の高齢化や干し子の減少により生産量も今後減っていくことが予想されます。そのような中、利尻町では町をあげてアルバイトの募集を行うなど生産量の維持やブランド力向上に一役買っております。全国に名の知られる「利尻昆布」ですが、我が町において、今後、生産量維持、ブランド力向上のため取り組もうとする計画など、町としてどのような考えでしょうか。

**町長** 本町の昆布漁業の生産量の現状についてですが、天然昆布と養殖昆布がありますので、それぞれ説明いたしますと、天然昆布の場合、平成元年以降33年間の平均生産量が73トンなのと比較して令和3年度は77・9トンということから、長期的な期間で比較すると漁業者が77

0人から270人と約3分の2と大きく減少している中においても、生産量自体は大幅に減少していない状況となっております。また、天然昆布の生産量の増減要因は、磯焼けの現象もありますが天然資源量に大きく左右され、昆布の遊走子が着底し生産に至るまでの2年間における自然環境に大きく左右されるものと考えており、また資源があっても漁期中の天候が悪ければ生産に結びつきませんし、かといって資源があるからと取りすぎると母藻が少なくなり後年度の資源に影響を与えるなど、様々な要因が重なった結果で生産量が大きく左右される漁業だと考えております。天然昆布に限っていうと生産量の減少と漁業従事者の高齢化や干し子の減少という問題は相関関係のないものではないと考えています。一方価格につきましては、平成元年以降の1kg当たりの平均生産額が1,890円となっております、

コロナ前の平成30年、令和元年には3,100円台まで平均価格が上昇していたところに、令和3年度は1,740円まで減少したというところで、その要因については、4番議員ご指摘のとおりブランド力が低下したということではなく、コロナ禍による影響を大きく受けて価格が減少したのではないかと漁業協同組合から聞いているところです。次に養殖昆布漁業についてですが、平成元年以降の平均生産量が108・6トンと比較して、令和3年度は1,490円というところとなり、95・6トンとなっており、長期的な期間で生産量を比較すると微減の状況にありますが、その要因の一つとしては着業者数の減少が挙げられます。しかし、養殖昆布は、漁業の中では比較的安定生産が可能な業種である反面初期投資や人材確保等、着業するためのハードルも多いことから後継者確保が難しいという側面もありましたが、今では、生産技術の進歩や省力化の向上、品質改善の取り組みなども進んでいるほか、離島漁業再生支援交付金による漁業研修「漁師道」の取組や、特定有人国境離島漁村支援交付金制度の活用により鬼

脇地区にて新たに2名が養殖昆布漁業に着業することとなっていることから、今後も安定した生産量を見込むことが出来るのではないかと考えているところです。一方価格につきましては、平成元年以降の1kg当たりの平均生産金額が1,860円となっております、コロナ前の平成30年には2,450円、令和元年には2,731円であったところに、令和3年度は1,490円まで減少したということ、その要因については、天然昆布と同じく、コロナ禍による影響を大きく受け価格が減少しているところですが、先週9月5日に行われました今年度の養殖昆布の入札結果をみますと、全体的に価格も持ち直しているところであり少し安堵しているところです。また、町を上げてのアルバイト募集が生産量維持やブランド力向上に一役買っていると事例を紹介いただきましたが、私も長年町理事者として勤務させていたおいては、今まで干し子が不足していることでアルバイト募集等について要望されたことが無かったことから、着業者の自助努力によるものと現時点では理解していまし

た。とはいいながらも、昨今の雇用環境においては、養殖昆布漁業に限らず、どの業種においても、共通の悩みの種は「人材確保・人材育成」ではないかと考えておりまして、各漁家においても大変苦勞されているものと思いますが、それぞれが人材を確保し生産されているものと考えております。それらを踏まえまして、ご質問の利尻昆布の生産量維持やブランド力の向上の取組に対する町の考え方については、まず生産量の維持については、天然昆布につきましては、離島漁業再生支援交付金事業の実施により漁業者自らが漁場に生産力の向上のための知恵を出し合い、チェーン振興事業などを行っているところとして、今年度は鬼脇地区の漁業集落も取り組まれると聞いておりますので、そうした取組に対し支援を継続していくことが重要であると考えております。施設整備としましては水産環境整備事業の実施により、鬼脇地区の清川地先に来年度から3年間で約1haの囲い礁を造成する計画となっております。また、養殖昆布事業につきましても、引き続き担い手対策や企業及び雇用拡充の取組を継続する

とともに、今までも、漁業協同組合からの要望を受け、その都度養殖昆布施設等の整備に取り組んできたところで、今後につきましても、ハード・ソフト両面から生産量維持に取り組んで参りたいと考えております。次に、利尻昆布のブランド力向上の取組についてですが、私は、利尻昆布は既に日本の中で一番の昆布でブランドであると認識しております、利尻島は何処に位置しているのか分からない人が沢山おりますが、利尻昆布は概ね知っていることを実際に感じております。基本的には利尻昆布はオホーツクから留萌付近までで水揚げされる昆布の総称を利尻昆布といいますが、その中でも「利尻島産」の利尻昆布はブランド品であります。ブランド力向上の取組という事で申し上げますと、今年度から鴛泊養殖昆布部会と町とで「利尻昆布株主事業」という取り組みを始めております。取組内容としては養殖昆布の養成綱の1m分を1株、1万5千円で株主を募集し、株主には昆布の生育状況や水揚げ状況などを月1回程度報告し、希望者については現地での昆布干し体験を受け付け、最終的に養

成綱についていた1mあたりの平均昆布本数を送付するという取り組みを始めた訳ですが、最初の年という事で50株分からは始めたところ応募が殺到し、5日間で一気に126件応募があったため急遽応募を締め切り、最終的に部会で株数を増やして頂きながら抽選で株主を決定し、74名93株分からは取り組みをスタートさせております。本取組は、価格が下がっている養殖昆布の漁業を応援してほしいとの想いと利尻昆布のブランド力向上、そして漁業者自らが販促活動を行うことを目的に始めている取組となっております。その他にも、今年度はイオン北海道の協力を受け、11月25日から3日間開催される「イオン道産デー」にて「利尻島フェア」の開催が決定しているほか、9月22日から日本最大のショッピングセンター埼玉県越谷市レイクタウンで行われる「北海道フェア」にも利尻昆布を持参し参加する予定となっております。いかに利尻昆布の価値を高め、包装、ネーミングなどを含めたマネージメント戦略によって個々の消費者に買ってもらいたくなくとも検討し利尻昆布の生産量維持・増大、ブランド力向上

のためには、漁業者、漁業協同組合、そして町が、課題や問題意識を共有しながら、各関係機関と連携し取り組んでいくことが重要であると考えておりますのでご理解を賜りたいと思います。

**上田議員** 質問通告後に養殖昆布の入札状況が判明し昨年より大幅に上昇しましたが今後どのように推移していくか注目しております。町長答弁で上げられておりましたが、国と漁協、企業など様々な取組計画を行っているんだと実感しました。その中でも利尻昆布株主事業というのは非常に挑戦的でおもしろい取り組みだと感じておりました。今後注目していきたいと思っております。いずれにしても利尻昆布は名前に入っているように利尻という存在をアピールできる重要な町の宝です。昆布のブランド力向上は町のブランド力向上にもつながると思いますので町として今後いろいろな角度から、目線から施策を積極的にい利尻昆布の生産量維持やブランド力向上に取り組んでいただきたいと考えていただきます。

(以上)

議会日誌

- 7月1日 利尻山神社例大祭、北のカナリアたち公開10周年感謝の集い(礼文島)
- 6日 北海道町村議会議員研修会(札幌市)
- 22日 全国離島振興市町村議会議長会理事会及び令和4年度第1回総会(オンライン会議)
- 8月1日 埼玉県深谷市議会「同志会」一行本町行政視察
- 8日 第3回広報・広聴常任委員会
- 15日 鴛泊地区招魂慰霊祭並びに平和祈念祭

- 8月23日 定例会8月会議
- 9月8日 第3回議会運営委員会
- 15日 定例会9月会議(～16日)
- 28日 鴛泊中学校3年生議会訪問
- 10月2日 金毘羅神社例大祭
- 5日 北海道離島振興町村議会議長会行政視察(奄美大島)
- 8日 利尻島おしどまり会総会(札幌市)
- 11日 表彰者選考委員会
- 18日 全国離島振興市町村議会議長会理事会(オンライン会議)

# 令和3年度 決算額 71億5423万円を認定

## 令和3年度 決算・質疑内容

会計名	歳入	歳出	差引
一般会計	54億1043万円	53億4527万円	6516万円
簡易水道事業	7045万円	6967万円	78万円
下水道事業	2億4804万円	2億4732万円	72万円
港湾整備事業	6441万円	6382万円	59万円
温泉事業	7158万円	7134万円	24万円
国民健康保険事業	3億7146万円	3億6375万円	771万円
後期高齢者医療	4675万円	4658万円	18万円
介護保険事業	3億2780万円	3億1629万円	1151万円
介護サービス(秀峰園・老健・デイサービス)	5億1532万円	5億1397万円	135万円
歯科施設(鬼脇歯科診療所)	4704万円	4620万円	83万円
国民健康保険施設(鴛泊診療所)	7183万円	7002万円	180万円
合計	72億4511万円	71億5423万円	9088万円

金額の単位は「万円」で四捨五入していますので合計・差額が合わない場合があります。

### 総務費

**Q伊藤議員** 弁護士謝礼ということで330,000円計上されていますが、どのような案件のための報償ですか。

**A建設課長** 弁護士謝礼については土地の関係で大磯方面、空港近辺の土地の関係の調査に、手付金として支払ったものです。

### 教育費

**Q平田議員** 体育施設関係の修繕料2,555,465円とありますがこれはどのような修繕に使った金額なのでしょう。

**A教育委員会次長** 体育施設関係の修繕料の内訳ですが主に鬼脇のパークゴルフ場の冬の柵、積雪が非常に多かったということ、東屋の修繕、それから風等も非常に強かったという事でコース内の立ち木の伐木で大半をしております。

それ以外に他総合体育館、それから翔武館、鬼脇の地域青少年会館の修繕と、照明の方をLEDのランプに変更した経費となっております。

### 平田議員(再質疑)

体育館や翔武館、そして青少年会館の老朽化も見取れませんが、様々な面を鑑みると簡単に建て替えるとはならないかと思えますので長く使い続けるにあたって計画的な補修、修繕が必要なのではないかと思うところがあります。今後予算立てをし、しっかりとした規模の補修などを予定しているのでしょうか。

**A教育委員会次長(再答)** ご指摘のとおり非常に施設も古くなっています。修繕等も行っている状況ですけれども、施設数も非常に多いため優先順位を決めながら、計画的に学校の体育館等もありますので、そういった部分も併用しながら今後町民の方とも、利用者の方ともお話ししながら、計画的に考えていきたいと思っております。



### 令和3年度決算審査特別委員会審査意見(要約)

人口減少や少子高齢化が進展するなか、長引く新型コロナウイルス感染症や不安定な国際情勢により大きな打撃を受けている地域経済にあつて、町内経済の活性化や住民福祉の向上を推進し、町民一人ひとりがゆとりと豊かさを実感して笑顔で暮らせるまちを築くためには、町民をはじめ行政、議会が一丸となってこの難局に立ち向かわなければなりません。そのため、我々議員も社会変化にいち早く対応し、停滞する経済情勢に的確に対処すべく、議会としての責任を果たしていかなければなりません。結びに、今後も財政運営は厳しさを増すことが予想されますが、持続可能で安定した行財政運営の堅持を期待し、決算認定制度の意義を真摯に受け止めていただき、町民評価の高い次年度予算となることを望みます。

## 9月会議で審議された議件



【認定】令和3年度利尻富士町各会計歳入歳出決算認定  
 【条例改正】職員の育児休業等に関する条例の一部改正  
 【予算】一般会計補正予算（第4号）  
 介護保険事業特別会計補正予算（第1号）

### 条 例

□職員の育児休業等に関する条例の一部改正

育児休業の取得回数制限緩和等の措置、非常勤職員の育児休業の取得要件緩和及び柔軟化についての規定整備  
 【原案可決】

### 質 疑

### 一般会計補正予算審議

□令和4年度利尻富士町一般会計補正予算（第4号）

歳入歳出それぞれ119,742千円を追加し、総額を4,833,684千円と定める  
 【原案可決】

### 質 疑

○岡本議員 地方債補正というところですが公営住宅個別改善事業債ということでは、200千円の増額となつていますが、これは建物自体の構造の改良なのか、それとも資材高騰による単品スライドという様な目的で8,200千円を計上しているんですか。

△建設課長 地方債で8,200千円ということで歳出の方では、土木費の住宅管理費の工事請負費分として14,000千円ほど計上しております。これに対する公債費として8,200千円なんですけれども、この14,000千円

円については、先ほど1番議員がお仰つたとおり資材高騰による分として富士野の1棟4戸建てが2棟の8戸分として計算した結果この分を補正するというところで計上させて頂きました。

○岡本議員（再質疑） 大体パーセンテージから言うと30%ぐらい増額になりますけれども全部資材の高騰ということですか。

△建設課長 その通りでございます。

□令和4年度利尻富士町介護保険事業特別会計補正予算（第1号）

歳入歳出それぞれ6,506千円を追加し、総額を345,591千円と定める  
 【原案可決】

### 報 告

□令和3年度利尻富士町一般会計及び特別会計決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率の報告

地方公共団体の財政の健全化に関する法律の規定により議会に報告されるもの

### 意見書

□株式会社利尻島振興公社の経営状況の報告について  
 利尻島振興公社の営業内容、第23期令和3年4月1日から令和4年3月31日までの収支は収入合計141,655千円。支出合計138,586千円で3,069千円の黒字

□意見書案第2号 国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書  
 【原案の通り可決し、関係省庁へ送付】

## 常任委員会レポート

■広報・広聴常任委員会（8月8日）  
 議会だより利尻富士No.196の編集についての調査及び協議

### 【定例会8月会議】 （8月23日）

□令和4年度利尻富士町一般会計補正予算（第3号）

歳入歳出にそれぞれ、68,753千円を追加し、歳入歳出の総額をそれぞれ47億13,942千円と定める  
 【原案可決】

【主な補正内容】

利尻富士町フェリー積載自動車航送料助成金、教職員住宅整備事業

### 【定例会10月会議】 （10月17日）

□令和4年度利尻富士町一般会計補正予算（第5号）

歳入歳出にそれぞれ、23,100千円を追加し、歳入歳出の総額をそれぞれ48億56,784千円と定める  
 【原案可決】

【主な補正内容】

電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金事業

# 行政報告

## 編集後記

令和4年も残すところわずかとなり振り返れば、島内でも全国同様、多数の新型コロナ感染者が発生し、コロナが当たり前にある事を受け入れる1年となりました。国の方針も全国旅行支援や屋外でのマスクが原則不要となるなど少しずつwithコロナへと舵を切り始めました。

そんな中、円安や世界的な物価高で食費光熱費など、家計にも厳しい冬を迎えます。くれぐれもご無理されて体調など崩されませんようご自愛いただければ幸いです。私ども議員も町民の気持ちに寄り添い、今何をすべきか一生懸命考え行動して参りたいと思います。令和5年は皆様のたくさんの笑顔がマスク無しで見られる年となるよう願っております。

広報・広聴常任委員会一同

## 議会に行こう!

(次の議会は12月9日を予定)

**議会傍聴**は議会活動に触れるもっとも身近な方法です。皆さんの選んだ議員の活動や町政の方針などを是非ご覧ください。会議当日の受付で傍聴できますので、役場3階傍聴席入口までお越しください。



## 広報・広聴常任委員会

委員長／佐々木 勝  
副委員長／平田 徹  
委員／岡本 晴樹 伊藤 信勝  
上田光斗夢 高坂 敏夫  
大森 智樹 戸嶋 郁夫  
飯田 睦穂

議会の詳しい情報は利尻富士町ホームページへ

<http://www.town.rishirifuji.hokkaido.jp>

## 1. 利尻空港利用状況

	6月	7月	8月
JAL (HAC)	2,294	2,552	2,359
搭乗率	82.4%	85.8%	84.7%
(前年同月比)	(1,093人)	(236人)	(210人)
JAL (HAC)臨時便	385	657	916
搭乗率	57.3%	62.2%	79.5%
(前年同月比)	—	(389人)	(339人)
ANA	5,633	6,672	4,441
搭乗率	65.3%	67.0%	44.6%
(前年同月比)	(4,319人)	(2,926人)	(1,314人)

## 2. 新型コロナウイルスワクチン接種について

現在のコロナ感染者数について、8月が79名、9月に入りまして9月15日まで4名、感染者数が報告されております。新型コロナワクチン接種でございますが接種回数年代別によって細かに状況が設定されており、4回目接種の状況については9月末までの見込みで60歳以上の接種率が77.3%となっております。オミクロン株に対応したワクチン接種では9月中にワクチンが配送となる予定であり、接種時期については対象者に細かな規定がありますが、概ね10月半ば以降に開始することを想定し準備を進めています。ほか小児、5歳から11歳の接種、乳幼児生後6カ月以上4歳以下の接種についても国から通知があり進めているところです。

## 3. 自動車運転免許の更新に係る高齢者講習

自動車運転免許の更新に係る高齢者講習に関し、利尻島内で実施することが出来ず、稚内など本土にわたり受講しておりますが、宿泊を伴うケースが大半となる中、高齢者にとっては大変厳しい費用負担となっていました。

このことから長年の課題でありました利尻島内で高齢者講習ができないか、稚内警察署を通して相談をし、先月25日に北海道警察旭川方面本部長に、本町長と利尻町長が面会し、高齢者講習の実施に関する要望を申し上げました。旭川方面本部長にもご理解いただき10月18・19日に利尻島で試行実施して頂けることとなりました。今後は、次年度以降も継続実施要望と、1年間に複数回実施いただくことで、高齢者の費用負担の軽減を図っていただくため要望してまいります。

## 4. 利尻島国保中央病院関係

診療科目を産婦人科から婦人科に変更することについて、小児科の常勤医が不在となったことから平成16年4月から分娩を休止しております。分娩は現状から今後も再開することは不可能であるため分娩室等をコロナ病室等へ転用したいと考えておりますが、産婦人科を標榜していると転用できないことから、婦人科への標榜変更を行いたいと考えております。現在は保健所の許可を経て一時的にコロナ病床に転用しています。変更による患者への影響については、現在産婦人科受診や妊婦検診が主流となっておりますが婦人科になっても検診は実施でき、患者への影響はないとのことです。

4月から鷺泊診療所と利尻島国保中央病院との医療連携に関し、6月17日に議員協議会を開催し議員皆様に協議頂いた医療連携に関する協定書(案)と覚書(案)については7月20日に4月1日付で利尻島国民健康保険病院組合長と締結しておりますのでご報告いたします。